

町内 5 校の学校運営協議会が開催されました。

8月 5日 (金) ・ ・ 北中学校
8月 22日 (月) ・ ・ 美幌小学校
9月 20日 (火) ・ ・ 美幌小学校②
9月 28日 (水) ・ ・ 旭小学校
10月 11日 (火) ・ ・ 東陽小学校
10月 12日 (水) ・ ・ 美幌中学校

- ◆ 1学期の教育活動、評価から今後の学校の取組
- ◆ 全国学力・学習状況調査からの課題と対応策
- ◆ 各学校の児童生徒の伸ばしたい点と課題
- ◆ 地域・家庭との連携
- ◆ 学校教育目標の見直し
- ◆ 運営協議会の責任と役割

協議題

- ◆ 町内の小中学校の学校運営協議会は、夏休み中開催の北中から始まり、休み明けから9月・10月にかけて、コロナ感染の影響もあり、学校内でも学習の維持や行事への対応等で学校運営協議会の開催も困難な状況が見られました。そのような状況でしたが、9月末には、前期学習の評価（通知表）が発行されるとともに、各学校とも前期の学校評価を行い、教職員だけでなく保護者や児童生徒の評価（アンケートや意見）などをもとに、後期に向けて取り組む課題をあきらかにしています。これらの結果は、学校だよりを通じて各家庭に知らされていますし、広報美幌にも掲載されました。
- ◆ 各学校の学校運営協議会で協議した中で、学力向上に向けての家庭学習（自ら学習に取り組むことや、学力テストの結果から明らかになった課題に対して自分の考えを書く力を育てることへの家庭と連携）などが話題として取り上げられました。（学校教育だけで、児童生徒の資質を変えることはできません）
3つのきょういく（学校教育・家庭共育・地域協育）でそれぞれ何ができるか・・・一歩を踏み出すことです

美幌町の良い点

- ◆ 美幌町の良いところは、いくつも挙げられます。
明るく元気で挨拶できる子が多い。

多くのオリンピック選手を輩出している町として、少年団活動が盛んであり加入者も多い。（体力テストでも好成绩です！）吹奏楽やスポーツ面での全道、全国大会での活躍など“美幌っ子”の頑張りか紙面を賑わせました。社会教育活動も盛んで、幼稚園・保育所から明和大学での学習活動、教育施設にも恵まれている（文化施設：博物館、図書館、町民会館（びほーる）、マナセン 体育施設：スポセン、サニーセンター、教育相談室、しゃきっとプラザ、など）環境整備が盛ん（除雪、道路花壇整備）

でも、考えていくべき課題も

- ◆ こんな美幌町の子どもたちにも、3年に及びコロナ感染拡大が影響を与えています。
自分の課題にしっかり取り組み成果を上げている半面、生活状況調査や学校評価で、家庭学習や読書体験の少なさやゲーム、スマホ、タブレットに費やす時間の圧倒的な多さなど課題も多くみられます。
他の人との交流の減少（3密を防ぐ）、悩みを相談する人がいない（抱え込み）、チョットしたことで感情が大きく変化してしまう（人の話を聞くのが苦手）失敗や間違えることを嫌う。
- ◆ 年度途中ではありますが、評価や課題を受け、学校としてどう取り組むのかを検討し、学校教育目標の見直しやグランドデザインの変更に舵を切った学校もあります。

・・・ **学校運営協議会はどうあるべきか“委員の責任と役割”** ・・・

- ◆ 令和元年11月に発足した学校運営協議会ですが、コロナ感染拡大で学校運営協議会の活動や地域と一体となった教育活動の推進なども、わずかな活動となりました。
- ◆ 学校運営協議会委員も2年の任期が終了した時に退任され、新規に協議会委員になられた方もいますが、実活動が制限された結果、“委員の責任と役割”としての活動がどんなものか理解を深める研修等を学校の枠を超えた問題等の話し合いをする **学校運営協議会連携会の活用**も充実させる一手段です。

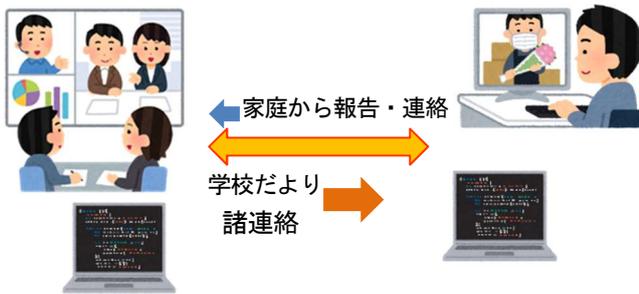
町内 5 校のホームページ開設

◆町内の学校のデジタル対応が進んでいます。町の教育委員会では、各学校のホームページを開設し学校からの情報を、各家庭にデジタル配信できるように取り組みを始めました。

これまでも、町コミを通じて、家庭との連絡確認も行ってきましたが、一歩進めて学校発信情報を紙ベースではなく、デジタル配信をして情報共有を図るものです。

◆紙ベースでの情報提供も良さもありますが、配布したけれども届いていない、回覧物はそのまま次の家庭に行って手元に残らないなどのデメリットもありました。

◆子どもたちも、タブレットを使い慣れてきています。家庭でも、連携の有効手段として活用していただければと思います。



※学校運営協議会だよりも、およそ月 1 回のペースで自治会回覧等をお願いしてきましたが（年 8～9 回）、これまでも町のホームページに掲載していただくよう取り組みを変更していきます。

※紙発行については、年 4 回程度回覧していただくように検討しています。

.....

経済の伝書鳩掲載

新型コロナウイルス感染拡大を受けて町民の皆さまにメッセージが発信されました。

平野町長からのメッセージ

美幌町民の皆さまへ

秋の感染防止対策にご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力をお願いしている町民の皆さまをはじめ、事業者の皆さま、医療の最前線でご尽力いただいている医療従事者の皆さまに、心から感謝とお礼を申し上げます。

国は高齢の方や重症化しやすい方々に適切な医療を提供するため、9月26日から感染者の全数把握を簡略化するなど、ウィズコロナの新たな段階への移行が徐々に進んでおります。

これまで北海道が公表していた市区町村別の新規感染者数は、届出の見直しにより9月26日以降、美幌町の新規感染者数は把握できませんが、小中学校の学級閉鎖や幼稚園・除育園の休園が相次いでおり、感染状況は依然として高止まりしているものと推察されます。

また、秋の行楽シーズンを迎え人の移動が活発化し、新規感染者の増加が予想されることから、このままの状況では、町内医療機関のひっ迫も懸念されるところであります。

町民の皆さまにおかれましては、家庭内での感染防止対策のほか、外出される際は、三密の回避や人と人の距離の確保、適切なマスクの着用、手指消毒の徹底、十分な換気に加えて、のどの痛み、咳、発熱などの症状がある場合には外出を控えるなど、「感染しない」「感染させない」ための行動を実践して頂きますようよろしくお願いいたします。

感染の予防や重症化を防ぐ効果が期待されておりますワクチン接種は、申し込みをしていただければ接種出来る体制を整えておりますので、積極的にワクチン接種をご検討いただきますようお願い申し上げます。

徐々にコロナ禍から脱していかなければなりません。今一度、町民の皆さまの力を結集して感染対策を徹底する必要がありますので、感染防止対策の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。



令和 4 年 10 月 12 日

美幌町長 平野 浩 司